

医薬品 (1/3)



セクター概要

市場規模 ¹	55億米ドル (2019-20年度)
雇用創出規模 ¹	2.7百万人 (間接要員含む)
取引規模 ²	輸出: 13.7 億米ドル (2019年4月から2020年1月) 輸入: 1.99 億米ドル (2019年4月から2020年1月)
主要な輸出国 ²	米国、英国、カナダ、中東
世界マーケットシェア ¹	ジェネリック薬品に対する世界需要の50% AIDS薬の世界需要の約80%を供給
FDI資金流入(全体に対する割合) ³	3.59 % (2000年4月から2019年12月)
市場トレンド ¹	市販薬の約70-80%はジェネリック薬品が占める、医薬品有効成分では世界第3位の市場規模、アジアで4番目に大きい医療用機器市場 (約3,000の医薬品会社、10,500ヶ所以上の製造拠点)

顕在化した、または潜在的な影響

項目	低	中	高	不明	コメント
供給サイド					
主要な原材料の価格変動		✓			輸入原材料価格の上昇：中国からの医薬有効成分の輸入価格が40～50%程度上昇しているケース有り。
製造拠点の閉鎖			✓		ロックダウンによる人員不足に伴う生産停止。
資金繰り		✓			大企業は資金繰りを管理できるが、中小規模会社は資金繰りに重要な影響。
供給網の混乱			✓		原料不足、価格高騰、工場閉鎖、輸送中断などのサプライチェーンの混乱は、特定の医療品の供給に影響。
労働力		✓			医薬品製造はロックダウン対象から除外されているが、労働力不足は生産停止の原因。工場からの輸送人員確保にも影響。
輸入 (該当ある場合)			✓		工場閉鎖(特に中国)に伴う原材料在庫の不足。

1. Pharmaceuticals sector overview, InvestIndia website accessed on 26 March 2020

2. Export-Import (EXIM) databank, Ministry of Commerce, accessed on 25 March 2020

3. Quarterly factsheet on Foreign Direct Investment (FDI), April 2000-December 2019, Department for Promotion of Industry and Internal Trade

医薬品 (2/3)



顕在化した、または潜在的な影響

項目	低	中	高	不明	コメント
需要サイド					
ロックダウン影響		✓			必須医薬品の需要増に伴う短期的な売上増加に対応できる製造従事者の確保。 流通在庫量をロックダウン期間の需要に対応させる必要。
消費者心理			✓		消費者心理に影響は無し。 利用可能な医薬品を組み合わせによる治療法への期待。
輸出(該当ある場合)		✓			先進諸国の必需薬、検査薬の買い溜めによる輸出量の増加。

- ジェネリック薬品が最もインパクトを受けるエリア: 原材料は中国からの輸入に高く依存 (およそ70%) しており、過去2か月間の調達網の混乱は既存保有在庫で対応済。中国がコロナ混乱前の状況に戻れば原材料供給の混乱も緩和される見通し。
- 医薬品はロックダウンの対象外であるが、労働力不足、輸送規制が生産量確保のボトルネック。
- 必需薬、消毒剤、マスクやグローブなどの供給と流通に問題あり。原材料や付帯物が工場に届いておらず生産能力が低下。
- 米国やEU諸国などが医薬品の大量保有を進めており、特定の医薬品については、輸出に対する強い要請あり。
- 国内に十分な量を供給するため、インド政府は重要な必需薬、医療機器、消毒剤、サージカルマスク、人工呼吸器の輸出を禁止。
- グローバル製薬会社はサプライチェーンの監視を強めており、混乱を最小限に抑えて供給を継続することを表明。
- 製薬会社は政府機関と協力し、ウイルスに効果のある薬剤の組み合わせをテスト中。
- 米国食品医薬品局(USFDA)は重要な薬を製造する業者に対する輸入規制、手続を緩和。
- オンライン販売のケースでは、配達スタッフの不在や通行許可書の不発行により薬品の配送に問題が発生。

4. Coronavirus Spotlights India Drug Industry's Reliance on China, VOAnews, 27 February 2020

5. Import Alerts, U.S. Food & Drug Administration, accessed on 26 March 2020

医薬品 (3/3)



推奨される主要な政策提言

提言	短期	中長期
税金、コンプライアンス関係	<ul style="list-style-type: none">原材料と付帯品の製造と輸送に対するルールを明確にする、特別許可を付与する。十分在庫が確保されている医薬品原薬の輸出規制を緩和する。	<ul style="list-style-type: none">迅速な承認と通関手続完了のため、単一窓口での通関手続完了を手配する。
財務状況の健全化	<ul style="list-style-type: none">GSTなどの税金の迅速に払い戻す。	<ul style="list-style-type: none">同左
最終消費者支援	<ul style="list-style-type: none">最終消費者向けに十分量の必需薬の供給を保証する。社会的距離拡大の観点から電子決済を促進する。	<ul style="list-style-type: none">偽造薬防止を目的とした政府当局の監視を強化する。
その他	<ul style="list-style-type: none">ロックダウン期間の労働力不足を解消するために労働者に電子通行許可書を発行する。ロックダウン期間中の通勤手段を提供するため、政府公認の交通手段を手配する。	<ul style="list-style-type: none">緊急時対応のため政府機関公認の備蓄庫を手配し、医薬品原料と重要な薬品につき最低3か月分の備蓄を確保する。医薬品の供給網の混乱を解消し、また、インドが長期的に医薬品の代替的な供給先となるように、EU諸国および米国と多国間協定を締結する。中国からの原材料輸入依存割合を低下させる。産学提携を強化すべく研究開発活動に対するインセンティブを付与する。